

平成 29 年度 みくに保育園事業

1・保育所の運営

①定員 200 名

「平成 28 年度措置時数」

園児数	乳児	1・2 歳児	3 歳児	4 歳以上	合計
4 月	5	54(2)	44	82	185(2)
5 月	5	55(2)	44	82	186(2)
6 月	6(1)	56(2)	45(2)	83	191(5)
7 月	5(2)	57(1)	45(1)	84	193(4)
8 月	8(1)	57(1)	45(1)	83	193(3)
9 月	8(1)	57(1)	45(1)	84	194(3)
10 月	9(1)	56(1)	45(1)	84	194(3)
11 月	9(1)	58(1)	45(1)	85	197(3)
12 月	9(2)	58(1)	45(1)	85	197(4)
1 月	9(1)	57(1)	45(1)	84	195(3)
2 月	9(1)	58(2)	45(1)	85	197(4)
3 月	9	58(2)	45(1)	85	197(3)
合計	94	681	538	1006	2319(39)

「平成 29 年度措置時数」

園児数	乳児	1・2 歳児	3 歳児	4 歳以上	合計
4 月	2	60(2)	40(1)	85(1)	187(4)
5 月	2	60(2)	40	85(1)	187(3)
6 月	3	61(1)	40(1)	85(1)	189(3)
7 月					

4・年間行事について

* 4月に入園式に始まり 5月の遠足 6月の保育参観と園児たちが、保育園生活に慣れるよう、徐々に保育園のリズムにしていく、また、行事を通し保護者にも園での生活を見て頂き、集団生活の中の園児の様子、他児との係りを知っていただく。ここ近年入園児の低年齢化し1・2才児の保育の充実が大切になってきた。

* 7月の七夕、夏祭り 8月のお泊り保育を通し、日本の文化に親しみ、触れることにより、互いの信頼・和を深めていくことができた。特に夏祭りでは小森お囃子連の皆様・猿田彦信徒会の皆様のご協力を得て盛大に町内を渡御することが出来ました。

* 10月の運動会 12月の発表会を園全体でもりあげ、園を中心として地域・保護者・園児が一つになれる行事が出来た。

* 1月2月3月は、普段の園生活の中で年長児は卒園に向け、在園児は進級に向けそれぞれの目標に向かい、落ち着いた雰囲気の中で保育することができた。

* 自己評価を実施し、日々の保育を振り返ることにより、来

年度に向けて資質の向上に努めることが出来た。

「特別保育」

・延長保育

* 近年になり延長保育を利用する家庭が多くなり、家庭の仕事の複雑さを感じる、様々なニーズに対応するため職員の配置を考え事故の無いように対応した。

・一時保育

* 家庭の都合や仕事の多様さなどで、利用者が多くなり、対応が難しくなっている。1か月前からの申し込みを受け担当職員でできるだけ多くの園児を受け入れてきた。

・休日保育

* 地域性かそれほど多くの利用はないが、祝日などは時々利用がある。園児が不安定にならないよう対応した。

・障害児保育

* 筑波大学の子ども支援研究所の支援を受け年に5月・11月・3月に来園してもらい、支援が必要な園児の対応について学び保育に取り入れた。支援が必要な園児が

年々増え職員の資質の向上に努めてくことが重要。

別紙 アンケート